



スタート

長野県上田中に創業しました!
資金は38円

1919

大正8年

創業者 柳澤光三

株式会社シナノの前身である「信濃スキー製作所」を創業。木材を加工したスキー板と竹製のスキーポールを製造する小さな工場、その発祥でした。

1950年代の工場の様子

1956

複数の竹を組み合わせた、合竹ポールの生産が始まる。

スキー人口急増に伴い、工場の生産ラインを整え量産に対応

1946

志賀高原の丸池に日本初のリフト誕生

高度経済成長とともに、スキー環境が急速に進化。

終戦の翌年、柳澤光彦が父・光三の事業を継承し、信濃産業株式会社を設立。



1回休む

1928

スキーは日本中の人々の憧れになる

スキー大会・ツアーの体験がエッセイとして発表され、憧れのスポーツに。

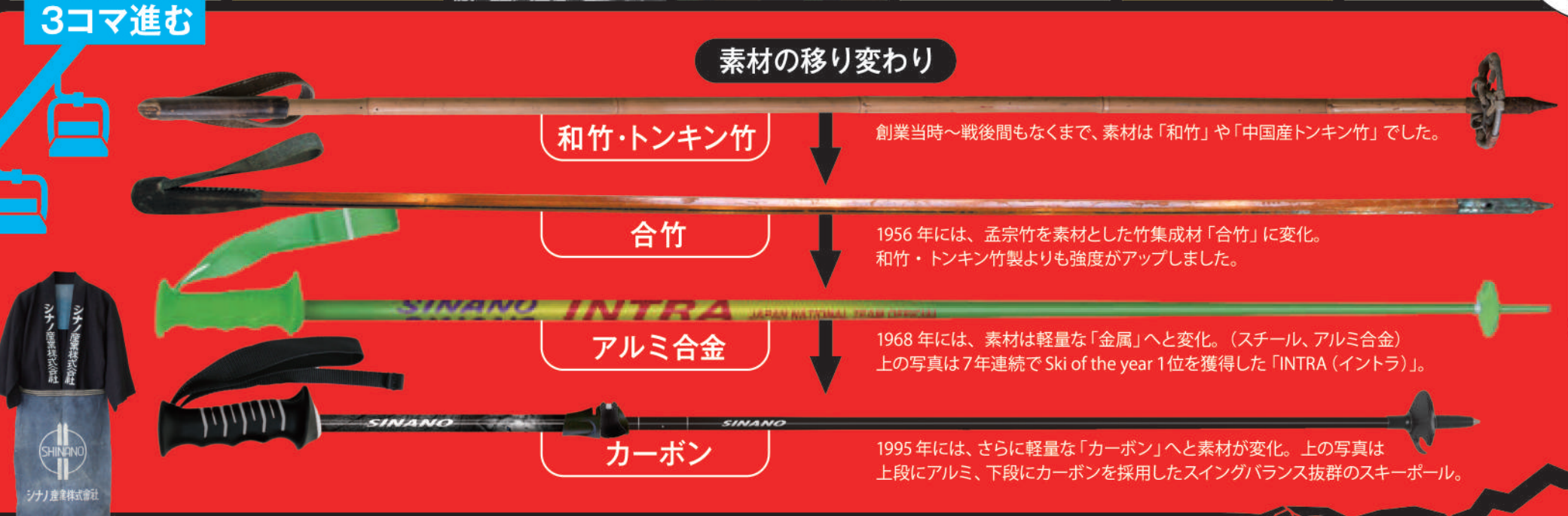
第2回冬季オリンピック・サンモリッツ大会に日本人スキー選手が出場。

1928

スキー用具全般の製造販売に挑戦

気骨あふれる明治男。日本のスキー草創期を支える。

長野県上田中に創業しました!
資金は38円



1957

社名をシナノ産業株式会社に変更。スキーポール専門企業として歩み出す。

1969

南極観測隊に特注品100組納入

ポールシナノとして知名度を博し、国産ポールのトップシェアを占める。

1968年、素材を合竹から軽量な金属に転換。翌年社名を株式会社シナノに変更。

1974

全国からスキー場へ人々が押し寄せる

札幌オリンピックの開催を機に、スキーツアーやスキー修学旅行が激増。

3代目社長に宮澤順一が就任。ユーザーの声を収集し開発に繋げる体制を貫く。

1986年

トレッキングポールの販売開始

1990年代 INTRA が一世を風靡する

1998

合併会社を設立。翌年、FRP複合引抜材(ブルトレン)の製造を開始。 ※2011年に合併契約を解消

海外拠点を確立しマイナスからV字回復

少量生産は国内、中～多量は海外と、価格に合わせた仕組みの確立。

1911

明治44年

日本にスキーが伝わる

シナノの歴史は日本のスキーの歴史と共に

オーストリア・ハンガリー帝国の軍人、テオドル・エドラー・フォン・レルヒ少佐が新潟県高田で日本初の本格的なスキー指導を行い、日本にスキー文化が伝来しました。

祝・創業100周年!

2019

ゴール

100周年記念ロゴ

スキーに始まり、トレッキングや街歩きの杖まで。山から街へと、ポールとともに紡いできた歴史をマークに。

MY POLE LAB by SINANO

新時代を見据えた「3K(健康・高齢・環境)戦略」で進化するシナノ

1999 歩行杖「Kainos」ブランドを立ち上げSG工場認定を受ける

2005 トレッキングポールのSG工場認定設立。工場認定を受ける

2006 ウォーキングポール「REVITA」を開発

2015 自分でデザインしたポール、杖が作れるWEBサービス「MY POLE LAB」の開始

2011年、5代目社長に柳澤光宏が就任。

現・社長です

勢いに乗って3コマ進む

2000年、4代目社長に柳澤光臣が就任。

現在は会長です

2011年ロゴマークを新しく制定。

倒産を覚悟しふりだしに戻る

バブル崩壊の余波

1991年のバブル崩壊、スキーブームの終焉によるスキー人口の激減。

現在は会長です

2000年、4代目社長に柳澤光臣が就任。

2011年ロゴマークを新しく制定。

✂️ コマを切って使ってね ✂️